

## 地 域 再 生 計 画

- 1 地域再生計画の名称  
活力と潤いと魅力あふれる花の町づくり
- 2 地域再生計画の作成主体の名称  
鹿児島県大島郡和泊町
- 3 地域再生計画の区域  
鹿児島県大島郡和泊町の全域

### 4 地域再生計画の目標

和泊町は鹿児島市から南へ 53.6 km、沖縄本島の北方 60 km の洋上に浮かぶ沖永良部島（周囲 55.8 km、面積 93.6 km<sup>2</sup>）の東半分からなり、面積 40.3 km<sup>2</sup>、人口 7,436 人である。気候は亜熱帯海洋性に属し、四季を通じ暖かく、亜熱帯の花々が咲き、ライトブルーに輝く青い海と空、白い砂浜、黒潮が旅人を魅了する、自然豊かな南国の町である。

和泊町では、「活力と潤いと魅力あふれる花の町」を基本理念として、各種施策を展開し、本町の特性を生かした産業の振興や人と自然が共生する癒しの町づくりを推進している。しかしながら、近年「やすらぎ」「潤い」といった心の豊かさを追い求める時代になり、「誰もが魅力を感じるやすらぎの町」と言う割には、町民は豊かさを感じていないように思われる。又、少子高齢化の時代を迎え（高齢化率 29.0%・過去 5 年間の人口 3.9%減少）確実に人口は減少傾向にあり、入込客も、年間 90,000 人程度でほとんどがビジネスマンで占められ、地場産業の低迷、経済・雇用不振等多くの課題がある。

和泊町の地域再生は、地域の特性を生かした産業（地場産業、技術、人材、観光資源、自然環境、歴史、文化）を住民の創意と工夫により有効活用を図りながら、個性ある地域づくりを達成し、「産業経済の活性化」と「地域雇用の創造」を実現しようとするものである。

本町の目指す町づくりを実現するためには、町民が行政に参画し、町民が自立し、誇れる町づくりを目指し、「町民と行政の共生・協働」の町づくりが不可欠で、地域活性化策の基本は、地域の特性を生かした産業の再生であり、これを担う優れた人材の育成である。

具体的な施策としては、基幹作物となっているさとうきびの生産量の確保やばれいしょ、花きなどの園芸作物の生産振興による農業の振興、沿岸・沖合漁場の整備開発、魚貝類養殖漁業の振興をはじめ魚貝類種苗の生産・研究

の促進，農林水産物を利用した特産品や黒糖焼酎などの地場産業の振興などに取り組んでいる。

また，タラソテラピー施設を拠点として，農業体験や漁業体験など島の持つ魅力を最大限に活用した新たな体験・交流，島特有の長寿・子宝を生かしアイランドテラピー構想を推進することにより，健康増進，癒しの場が創生され、誰もが「住んでみたい」「住んでよかった」と思う魅力的な町をめざすことが地域再生の目標である。

そこで，和泊町の地域再生については，次の重点目標を推進するものとする。

- (目標 1) 農林水産業の振興と地域環境の改善
  - (農畜産額 17 年度販売額の 15% 増の 6,480 百万円)
  - (環境保全型農業の推進)
  - (陸上養殖等の推進)
- (目標 2) 地域特性を活かしたモノづくり，人づくりを追求し，産業と雇用を創出し，地域の活性化を図る。
  - (特産品の開発・販売等，人材の確保・育成，新規雇用者数 **27 人**)
- (目標 3) タラソテラピーを活かした健康なまちづくりによる雇用創出
  - (新規雇用者数 **4 人**・医療費の 10% 削減・体験交流の活性化を図る)

## 5 目標を達成するために行う事業

### (5 - 1) 全体の概要

#### (1) 農林水産業の振興と地域環境の改善

農業は，さとうきび・野菜・花き・肉用牛を組み合わせた複合経営を基本とし，輪作体系による地力増進を図りながら持続性の高い農業を展開している。

近年，機械化・省力化による効率性を追及した単作，専作経営が増えつつあり，農業生産の基本である土づくりを主体とした環境保全型農業を推進し，併せて水利用の推進，流通施設の整備，次代を担う農業青年や認定農業者の育成・確保に積極的に取り組み，各種団体・生産組織の活動支援に努める。

また，意欲ある中核農家を育成するため，農地の集積，流動化を促進し，規模拡大と経営効率化等の支援活動を展開して「ゆとりに満ちた活力ある農業の町づくり」に努める。

地域再生の農畜産物目標数値

作物名	作付面積(ha)	販売量(t)	販売額(千円)
さとうきび	445	23,416	479,331
野菜	589	6,550	1,262,202
花き類	267		3,668,758
果樹	5	4,220	126,310
畜産		2,627	932,827
その他			10,572

- (2) 地域特性を活かしたモノづくり，人づくりを追求し，産業と雇用を創出し，地域の活性化を図る。

本町農業は，さとうきび・野菜・花き・肉用牛を組み合わせた複合経営を基本とし，労力配分や輪作体系による地力増進を図りながら持続性の高い農業を展開してきた。しかし，近年農業従事者の高齢化が進む中で，次代の本町農業を担う農業青年を確保・育成することは重要な課題となってきた。

このような中、花き類の専門的知識や品種改良，バイオ技術等に関する知識や能力を持った人材の育成・さとうきびの新品種等の栽培試験及び種苗の普及を図るため調苗に当たる人材，さとうきび側枝苗を大量生産するためのノウハウを持った人材・生物農薬，微生物活性資材等や能力を持った人材等の育成を積極的に推進する。

- (3) タラソセラピーを活かした健康なまちづくりによる雇用創出

鹿児島県初のタラソセラピー施設「タラソおきのえらぶ」は，「心と身体の癒しの島づくり」の中核施設として，タラソセラピーの特性を生かした健康づくりの創出、生活習慣病による医療費の上昇の解決策の施設である。また，恵まれた地域資源(海水・海藻・海泥・薬用植物)を活用した，健康や癒し効果のある商品開発を行っている。しかし，商品開発のノウハウを持った人材，タラソセラピーを実施する専門的な技術・知識等を備えた人材が不足している。

「黒潮に囲まれ，亜熱帯の花と緑に恵まれた島」と「タラソおきのえらぶ」の豊かな資源を生かした特産品開発，生活習慣病予防，健康づくりを産業へ展開させることを目指し，これらを担う人材の育成を積極的に推進する。

・滞在型宿泊所・総合体育館建設

700万人とも言われる団塊の世代にタラソテラピーを体験し、スロースライフを満喫していただく、また、花粉症で悩んでいる方が治療に専念できる賃貸ハウスを建設する他、総合体育館を建設し、スポーツ選手の合宿誘致を推進するためタラソを利用したトレーニングメニュー・リハビリメニュー等、他にない特色ある合宿プランを作成し、誘致活動を展開して行く。

・ゆり 100mロード

花の島のイメージを押し出すため、タラソ入口の道路沿いに 100mの花壇を作り、ゆりやフリーズア等「島の花々」を植栽し訪れた方々を魅了させ、純白で清楚な、かつ芳ばしい香りで心身を癒す。管理等はシルバー人材センターに委託する。

・陸上養殖

現在タラソ施設で地下 85mから汲み上げた清浄な海水を使用しアワビ・シラヒゲウニの陸上養殖が試験的に行われているが、海水の水温、浄化管理ができてない状況である。そのため外気温度などに左右されない、水温管理ができる施設が必要である。

養殖だけでなく、イセエビや夜光貝等を生かし、その場で即売会や地方発送などを行うシステムを構築するほか、施設のレストランで調理し、人気メニューとして活用する。

( 5 - 2 ) 法第 5 章の特別の措置を適用して行う事業  
「該当なし」

( 5 - 3 ) その他の事業

5 - 3 - 1 地域雇用創造推進事業（新パッケージ事業）【B0902】

【実施主体】

和泊町雇用創造促進協議会

【組織構成】

構成団体 和泊町  
和泊町商工会  
JA あまみ和泊事業本部  
沖永良部島魚業協同組合  
和泊町観光協会  
株式会社えらぶ海洋企画

南栄糖業株式会社 沖永良部事業所  
沖永良部花き流通センター  
有識者

【実施期間】

認定を受けた日～平成21年度末（3年間）

【事業概要】

1 農業関連人材育成事業

町民全般に対する講習，研修会を開催することにより，本町を担う農業青年の確保，育成支援を実施する。

(内容)

確保対策としては，Uターン者及び新規学卒者等の人材育成確保のための啓発活動を行い，若年層に対する農村のイメージアップを果たすべく，体験学習を実施する。

育成事業としては，組織活動の支援，実験農場における長・短期研修，派遣研修の実施，栽培技術・経営技術の向上，組織間交流や異業種交流による仲間づくりや人格形成を図る。

平成18年3月に事業を停止している，旧バイオセンターを再活用し，花き類(キク・ソリダゴ・ゆり)の育種と，優良な種苗（野菜・さとうきび・花き）の大量増殖を図るために，各種研修会及び実施演習を行い，優良種苗を生産者に供給するとともに、育苗・増殖技術補助員の雇用を創出し，地域の活性化に資する。

2 タラソセラピーに伴う人材育成・雇用創出

(1) タラソセラピーインストラクター人材育成事業

インストラクター育成のための海洋療法の講習会・講演会を実施する。

(内容)

「タラソおきのえらぶ」は，五感を刺激する癒しの施設として自然治癒力を高めることを狙いとして建設された。多くの利用者から「血圧が下がった」「膝や腰の痛みがとれた」「よく眠れる」等の具体的な声も多く聞かれ，タラソセラピー効果が実を結び始めている。

このような中，タラソセラピーを実施する専門的な技術・知識等を備えた人材が不足している。

商品開発のノウハウを持った講師や先進地のインストラクターを招聘し，地元で研修会を実施して育成を行う。

### 3 町民の健康づくりを担う人材育成

#### (1) 健康づくり人材育成

町職員や事業所・団体を対象に、健康づくり、介護サービスの講習会を開催

#### (内容)

温暖な海洋性気候や海にかこまれた自然を生かした長寿のための健康づくりの場の創出、健康と癒しの島づくりを目指すために、施設活用と地域の特性を生かしたタラソテラピーによる心身ともに健康な人の増加を目指している。

しかし、離島という特殊性から、各分野での指導者不足や専門的な技術を持った人材が不足しており、研修派遣やセミナー等に参加して技術を会得することで、雇用の場の拡充を図る。

### 5 - 3 - 2 その他支援措置によらない独自の事業

#### (1) 環境保全型農業の推進事業

環境にやさしい農業については、耕種的防除技術の確立、適期防除による農薬使用量の削減に努めるほか、堆肥、有機質肥料の施用等による減化学肥料・減農薬栽培技術の実証及び確立により、地域環境の保全を図りながら農業生産性の維持または向上との調和により、本町の農業の維持的かつ安定的な農業を推進していく。

また、有機農産物については、JAS 法に基づいて推進し、特別栽培農産物については、エコファーマーとあわせて農水省のガイドラインを基に栽培面積の拡大とトレーサビリティシステムの導入による流通体系を確立する。

#### (2) 土づくり運動

化学肥料や農業機械の普及が栽培技術の向上に重要な役割を果たしてきたが、一方では、化学肥料への依存度が高く堆きゅう肥施用不足と相まって、生産性は極めて低いのが実態ある。

土地の生産性を高めるために、堆きゅう肥等の有機物を活用した土づくり運動を積極的に展開し、土づくりの必要性を再認識し農業生産の安定的向上を図る。

#### (内容)

ア・夏場の太陽熱利用、有用微生物資材活用による土づくり

イ・肉用牛の増頭家畜排せつ物の有効活用

- ウ・はかま，野草等敷料確保・緑肥作物の推進
- エ・深耕バケットによる心土破碎・JA ボカシ肥等有機肥料の推進

(3) 豊かな自然と個性的な文化を生かした観光の展開

新たな観光資源の掘り起こしに努めるとともに，既存の観光資源  
観光施設の整備を進める。

(内容)

- ア・拠点観光地の整備をすすめ，日本一のガジュマルや琉球王朝にまつわる史跡，花の季節との組み合わせなど，ネットワーク化を図ることにより島内周遊型の観光地の形成を図る。
- イ・花や園芸作物の産地としての特性を生かしながら，花の島沖えらぶジョギング大会等のイベントをはじめ農業視察研修，大会等の誘致，開催を促進するとともに，観光農業など地域産業と連携した体験型観光を促進する。

6 地域再生計画の計画期間

認定を受けた日～平成28年度末（10年間）

7 地域再生計画の目標の達成にかかる評価に関する事項

農林水産業の振興と地域環境の改善

- ・ 研修内容の状況把握と営業実態・活動状況の調査により検証する。  
地域の特性を活かしたモノづくり，人づくりを追求し，産業と雇用を創出し，地域の活性化を図る。

- ・ 生産実績の聴き取り，技術向上の調査により検証する。

タラソテラピーを活かした健康なまちづくりによる雇用の創出

- ・ 「えらぶ海洋企画運営委員会」による実態調査により検証する。

8 その他の地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める  
事項

「該当なし」

## 添付書類一覧

- ( 1 ) 申請する公共団体の位置・区域を示す図面  
「和泊町の位置を示す地図」  
申請する公共団体の位置・区域を示す図面  
「和泊町の行政区域位置を示す地図」
- ( 2 ) 地域再生計画の工程表及びその内容を示した文章
- ( 3 ) 地域再生計画のイメージ図